

# 2024 年度 環境活動レポート



2025 年 5 月 8 日

木々に永遠の生命をあたえたい…東京ボードグループ

**ティー・ビー・ロジスティクス株式会社**

(実施期間 2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

エコアクション 21 環境活動レポート

ページ

1. 会社概要	2-5
① 会社概要	
② 組織図	
③ 産業廃棄物収集運搬業許可一覧	
2. 環境方針	6
3. 中期環境目標、達成度と評価	7
4. 活動計画表	8
5. 環境関連法規等及び遵守状況	9
6. 社長による見直し結果	10

# 会社概要 1

## 1. 登録事業所の概要

(1) 事業者名及び代表者名

ティー・ビー・ロジスティクス株式会社  
代表取締役社長 相川 和政

(2) 所在地

本社 〒340-0835 埼玉県八潮市浮塚 100 番地  
営業本部 〒340-0835 埼玉県八潮市浮塚 331-1  
第一車庫 〒340-0835 埼玉県八潮市浮塚 329-1,330-1  
第二車庫(無人) 草加都市計画事業八潮南部西一体型特定区画整理事業  
48 街区 4 画地 5 画地 6 画地  
第三車庫(無人) 草加都市計画事業八潮南部西一体型特定区画整理事業  
21 街区 14 画地 15 画地 16 画地  
横浜営業所 〒236-0003 神奈川県横浜市金沢区幸浦 1-3-4  
新木場営業所 〒136-0082 東京都江東区新木場 2-12-5  
車庫 東京都江東区新木場 2-11-1  
千葉営業所 〒285-0074 千葉県佐倉市西御門 653-16  
URL: <http://www.t-b-l.co.jp/>  
積替保管施設 〒340-0813 埼玉県八潮市大字木曾根字下 1246 番 1  
面積 958 m<sup>2</sup> 保管上限 別紙①の通り

(3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 中村 優香  
事務局 中村 優香  
連絡先 電話:048-994-1311 FAX:048-994-1315

(4) 事業内容(認証・登録の範囲)

産業廃棄物における収集運搬及び一般貨物運送事業  
①本社 ②営業本部・第一車庫 ③第二車庫(無人) ③第三車庫(無人)  
④横浜営業所 ⑤新木場営業所 ⑥千葉営業所

(5) 事業の規模

処理量(受託した廃棄物量)	33,930t(総収集運搬量)
売上高	1,498 百万円(2025 年 3 月)
従業員	91 名(2025 年 3 月現在)

(6) 法人設立年月日 平成 9 年 4 月 4 日

(7) 資本金 1,200 万円

## 別紙①

## 3 保管施設

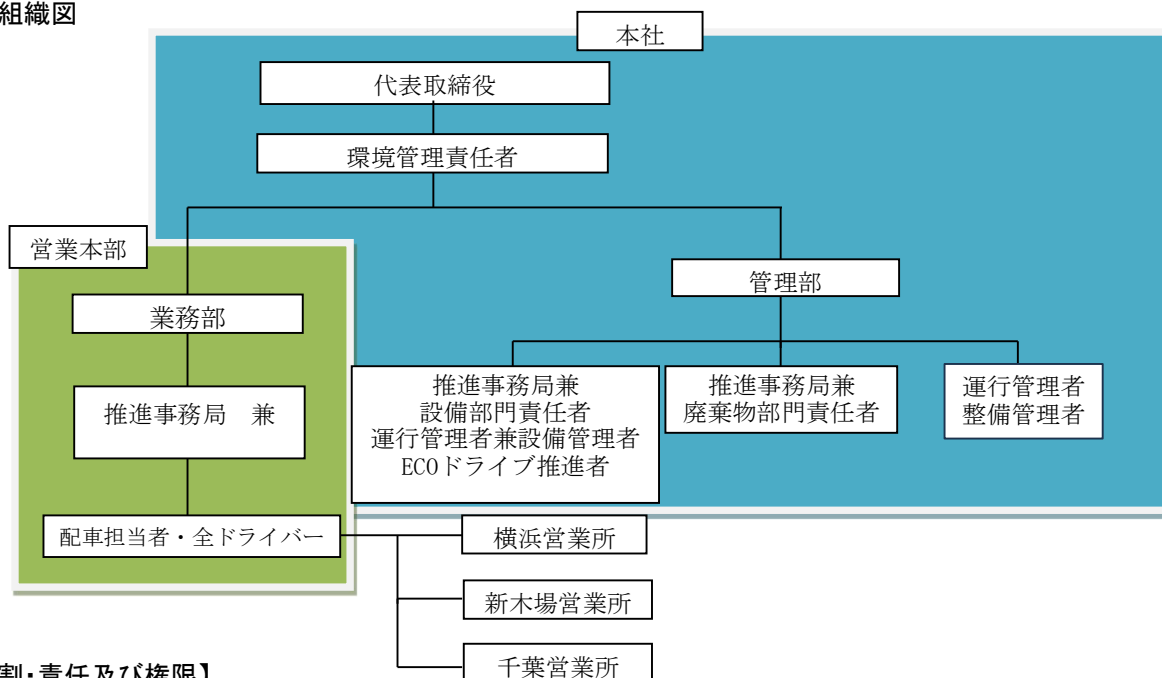
## (1) 保管施設一覧表

事業場番号	N o 1	新規、変更無し、変更前・ <u>変更後</u>		
事業場所在地	埼玉県八潮市大字木曾根字下1246番1			
No	廃棄物の種類	保管面積 (㎡)	保管高さ (m)	保管上限 (㎡)
1	がれき類	12.2	1.5 ( <u>屋内</u> )・屋外)	8.1 (8.1㎡脱着式 コンテナ×1個)
2	繊維くず	12.2	1.5 ( <u>屋内</u> )・屋外)	8.1 (8.1㎡脱着式 コンテナ×1個)
3	金属くず	12.2	1.5 ( <u>屋内</u> )・屋外)	8.1 (8.1㎡脱着式 コンテナ×1個)
4	廃プラスチック類	12.2	1.5 ( <u>屋内</u> )・屋外)	8.1 (8.1㎡脱着式 コンテナ×1個)
5	ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く)及び陶磁器くず	12.2	1.5 ( <u>屋内</u> )・屋外)	8.1 (8.1㎡脱着式 コンテナ×1個)
6	ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く)及び陶磁器くず	12.2	1.5 ( <u>屋内</u> )・屋外)	8.1 (8.1㎡脱着式 コンテナ×1個)
7	木くず	12.2	1.5 ( <u>屋内</u> )・屋外)	8.1 (8.1㎡脱着式 コンテナ×1個)
8	木くず	12.2	1.5 ( <u>屋内</u> )・屋外)	8.1 (8.1㎡脱着式 コンテナ×1個)
9	紙くず	12.2	1.5 ( <u>屋内</u> )・屋外)	8.1 (8.1㎡脱着式 コンテナ×1個)
10	混廃(木くず, ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く)及び陶磁器くず, 紙くず, 廃プラスチック類, 繊維くず, 金属くず, がれき類)	12.2	1.5 ( <u>屋内</u> )・屋外)	8.1 (8.1㎡脱着式 コンテナ×1個)

※「保管面積」、「保管高さ」、「保管上限」の数値は、小数点以下1桁まで表記することとし、小数点以下1桁未満の数値は切り上げて記載してください。

会社概要 2

(8) 組織図



【役割・責任及び権限】

代表取締役	環境方針の設定とEA21全体の見直し
環境管理責任者	環境関連法規制の順守評価を含むEA21実施責任者
CO2部門責任者	CO2・排水量の削減
推進事務局兼廃棄物部門責任者	廃棄物量削減
推進事務局兼設備部門責任者	設備部門責任者・CO2・排水量・グリーン購入の推進
運行管理者	各拠点1名ずつ
ECOドライブ推進者	本社運行管理者
整備管理者	各拠点1名ずつ
従業員（ドライバー含む）	91名（環境方針の徹底と省燃費運転の推進）

2025.3月末現在

(9) 施設等の状況(収集運搬関係)

運搬車両

用途	車種	台数	登録
収集運搬車両	大型コンテナ車	3	産廃
〃	チップ車	8	〃
〃	15tウイング車	8	〃
〃	15tウイングチップ車	13	〃
〃	8t平車	4	〃
〃	10tユニック車	0	〃
〃	7tユニック車	8	〃
〃	4tユニック車	3	〃
〃	3tユニック車	0	〃
〃	4t平車	4	〃
〃	2.95t平車	2	〃
〃	4tアームロール車	10	〃
〃	4tダンプ車	6	〃
〃	3tダンプ車	1	〃
〃	2tダンプ車	1	〃
	車両保有数合計	71	

(10) 廃棄物処理料金

運搬料金につきましては、車両形状、地域により計算致します。  
 なお、無料にてお見積り致しますので下記担当までにご連絡下さい。  
 業務部 電話:048-994-1311 ファックス:048-994-1315

産業廃棄物収集運搬業許可一覧

都道府県 【◎=優良認定】	許可品目																許可番号	許可年月日	許可有効年月日
	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	燃え殻	鉱さい	ばいじん	水銀使用製品産業廃棄物 (蛍光灯管)	水銀使用製品産業廃棄物 (電池)			
東京都【◎】	◎	●	●	●	●	◎	◎	◎	●	●	●	●	●	●	●	●	第1300053819号	令和4年5月22日	令和11年5月21日
埼玉県【◎】 (積替え保管を含む)	◎	●	●	●	●	◎	◎	●	●	●	●	●	●	●	●	●	第01110053819号	令和6年8月2日	令和11年6月15日
千葉県【◎】	◎	●	●	●	●	◎	◎	●	●	●	●	●	●	●	●	●	第01200053819号	令和4年7月6日	令和11年5月31日
神奈川県【◎】	◎	●	●	●	●	◎	◎	◎	●	●	●	●	●	●	●	●	第01402053819号	令和6年5月28日	令和13年5月10日
茨城県【◎】	◎	●	●	●	●	◎	◎	◎							●	●	第00801053819号	令和4年7月1日	令和11年5月31日
栃木県【◎】	◎	●	●	●	●	◎	◎	◎							●	●	第00900053819号	令和4年8月17日	令和11年8月16日
山梨県【◎】	●	●	●	●	●	●	●										第01900053819号	令和5年3月26日	令和12年3月25日
長野県【◎】	●	●	●	●	●	●	●								●		第2009053819号	令和7年2月27日	令和14年2月26日
群馬県【◎】	◎	●	●	●	●	◎	◎	◎							●	●	第01000053819号	令和6年1月4日	令和13年1月3日
静岡県【◎】	◎	●	●	●	●	◎	◎	◎							●	●	第02201053819号	令和6年5月9日	令和13年5月8日
岩手県【◎】	●	●	●	●	●	●	●										第00300053819号	令和5年10月20日	令和12年10月19日
宮城県【◎】	◎	●	●	●	●	◎	◎	◎									第00400053819号	令和6年6月28日	令和12年10月24日
富山県【◎】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●						第01608053819号	令和6年6月14日	令和13年6月13日
新潟県【◎】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●						第01509053819号	令和6年6月19日	令和13年6月18日
山形県【◎】	●	●	●	●	●	●	●										第00609053819号	令和6年11月27日	令和13年11月7日
福島県【◎】	●	●	●	●	●	●	●										第00707053819号	令和7年2月18日	令和13年12月9日
愛知県【◎】	●	●	●	●	●	●	●										第02300053819号	令和7年2月14日	令和14年1月30日

「◎」は石綿含有産業廃棄物を含む。

## 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可一覽

都道府県 【㊟=優良認定】	許可品目											許可番号	許可年月日	許可有効年月日	
	廃油（揮発油類、灯油類、軽油類）	廃酸（pH2.0以下）	廃アルカリ（pH12.5以上）	廃石綿等	金属等を含む特定有害産業廃棄物										
					燃え殻	污泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	鉱さい	ばいじん				
東京都	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	第1350053819号	令和4年12月15日	令和9年12月14日
千葉県【㊟】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	第01250053819号	令和5年1月31日	令和11年12月18日
神奈川県【㊟】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	第01450053819号	令和5年3月6日	令和11年12月19日
埼玉県【㊟】	●	●	●	●									第01150053819号	令和6年9月5日	令和12年12月18日
宮城県	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	第00450053819号	令和6年7月5日	令和11年7月4日
静岡県	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	第02251053819号	令和6年8月26日	令和11年8月25日
茨城県	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	第00851053819号	令和6年10月18日	令和11年10月17日
群馬県	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	第01050053819号	令和6年11月20日	令和11年11月19日
栃木県	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	第00950053819号	令和6年11月29日	令和11年11月28日

## 2. 環境方針

# 環 境 方 針

ティー・ビー・ロジスティクス株式会社は、木質廃棄物を原料とした、パーティクルボード等のマテリアル建材を生産している東京ボード工業株式会社のロジスティクス部門としてスタートしました。

産業廃棄物(木質廃棄物)の回収とパーティクルボード等の配送で多くの車両を運行している当社は、「安全第一」による運行管理を徹底し、急速に変化する市場環境に即応し、整合性、合理性を備えた静脈物流を強化して、環境の保全と継承を支える物流企業として、社会貢献に努めます。

### <行 動 指 針>

1. 産業廃棄物収集運搬事業及び一般貨物運送事業に伴う環境負荷を低減し、環境への影響を最小限にとどめるため、次の取組を行います。

- ① 運搬における二酸化炭素排出量の削減
- ② 事務所、車庫における設備等の電力使用量の削減
- ③ 事務所設備等における水使用量の削減
- ④ 事務作業等から排出する廃棄物の削減
- ⑤ グリーン購入の促進

2. 交通事故及び車両不整備による緊急事態の撲滅による安全経営を目指します。

3. 設定した環境目的、目標達成に向けてDTSの運用を最大限に利用し、EA21プロジェクトによる全体の評価と定期的な見直しを行い継続的改善に取り組みます。

4. 事業活動において適用される環境法規制等を遵守します。

5. 環境保全関連の行政機関、団体などの環境保全施策に協力すると共に、地域社会における環境保全活動を行ないます。

6. 環境教育、訓練の実施によりすべての社員に環境方針を周知徹底すると共に、環境保全に関する知識を高め、社内における環境保全状況の知識・認識の向上を図ります。

7. 環境方針は公開します。

2020年4月1日

ティー・ビー・ロジスティクス株式会社

代表取締役社長 相川 和政

### 3.中期環境目標、達成度と評価

目標項目		2022年度 基準年度	単位	2023年度		2024年度		2025年度	
				目標値	実績値、評価	目標値	実績値、評価	目標値	
安全	交通事故撲滅	1	件	0	3	0	0	0	
		-	増減件数	0	×	0		0	
CO <sub>2</sub> 削減	CO <sub>2</sub> 排出量	2,249,153	kg-CO <sub>2</sub>	2,248,951	2,342,112	2,222,163	2,398,736	2,215,418	
	削減	-	増減率	0.0%	△ 104.1%	-1.2%	△ 107.9%	-1.5%	
	軽油燃費向上	3.78	km/L	3.79	3.73	3.80	3.83	3.82	
	削減	-	増減率	+0.3%	△ 98.4%	+0.6%	△ 100.8%	+1.0%	
	軽油使用量	860,583	L	860,583	896,785	850,256	918,555	847,675	
	削減	-	増減率	0.0%	△ 104.2%	-1.2%	△ 108.0%	-1.5%	
	ガソリン使用量削減	3,714	L	3,714	2,828	3,669	3,217	3,658	
	削減	-	増減率	0.0%	○ 76.14%	-1.2%	○ 87.7%	-1.5%	
資源有効利用	電力使用量	42,417	kWh	41,993	45,796	41,908	44,866	41,781	
	削減	-	増減率	-1.0%	△ 109.06%	-1.2%	△ 107.1%	-1.5%	
	廃棄物排出量削減	1,629	kg	1,604	1,843	1,604	2,082	1,604	
	削減	-	増減率	-1.0%	×	114.90%	-1.0%	×	129.8%
	水使用量削減	102	m <sup>3</sup>	監視水準25m <sup>3</sup> /2か月					
	コピー用紙使用量削減	320	kg	316	300	316	460	315	
	削減	-	増減率	-1.2%	○ 94.94%	-1.4%	×	145.6%	-1.5%
	グリーン購入	25%	%	監視水準25%					
環境責任者によるコメント(確認、評価)									
<p>当年度は①廃棄物排出量削減・②コピー用紙使用量削減項目が目標未達であった。</p> <p>また、安全面においては重大交通事故ゼロを達成し、重大事故の発生がなかったことは高く評価できる。</p> <p>① 廃棄物排出量削減 2024年度の廃棄物排出量は前年に続き増加し、目標値を大きく上回る結果となった。事務所移転などの外的要因はなく、日常業務における排出管理の徹底不足が要因と考えられる。今後は部門ごとの排出実態の把握と分析を行い、分別の徹底、リサイクルの推進、資材使用の見直し等、具体的な削減施策を講じる必要がある。あわせて、従業員への継続的な啓発・教育活動を通じて意識向上を図り、持続可能な廃棄物管理体制を確立すべきである。</p> <p>② コピー用紙使用量削減 2024年度のコピー用紙使用量は前年比で大幅に増加し、削減目標を達成できなかった。これは人員の増加および各事務所における紙資料使用の拡大が主な要因と考えられる。組織拡大に伴う一定の使用増は想定されるが、今後は業務フローを見直し、ペーパーレス化の促進や資料の電子共有の徹底を図る必要がある。印刷制限ルールの導入や、印刷ログの分析を通じて無駄な出力の抑制を図るなど、全体としての紙使用量の最適化に取り組むべきである。</p>									

※評価欄は累計値で評価：○達成、△90%達成・110%未達成、×未達成

※当年度の増減率欄は達成率と評価を示す。

※電力のCO<sub>2</sub>排出係数はEPCネットコミュニケーションズ 2021年度調整後排出係数0.477kg-CO<sub>2</sub>

※基準値として3年間使用

※化学物質は使用していない為目標を設定していません。

#### 3. 次年度の取組

次年度の目標値はこのページの2022年度の目標値を採用します。また、活動計画の活動事「達成手段」に取り組めます。

## 4.2024年度環境活動計画表

予定：○、実施済：●、未実施：×

目標項目	達成手段	実施スケジュール					
		4.5月	6.7月	8.9月	10.11月	12.1月	2.3月
交通事故撲滅	交通安全教育の実施	●			●		
	交通事故原因の調査						
	ドラレコの有効活用		●			●	
	KYT教育の実施(交通安全、緊急事態)		●				
	安全大会の開催					×	
緊急事故撲滅	緊急事態対応訓練						●
	定期車両整備	●	●	●	●	●	●
軽油使用量削減 ガソリン使用量削減	アイドリングストップ	●	●	●	●	●	●
	新入社員エコドライブの教育	●					
	動脈物流と静脈物流の一体化	●	●	●	●	●	●
	低燃費車の導入						●
	正確なDTSによる燃費管理の徹底	●	●	●	●	●	●
電気使用量削減	クールビズ・ウォームビズの継続	●	●	●	●	●	●
	エアコン設定温度の管理		●	●		●	●
	リモートワークの推進	●	●	●	●	●	●
廃棄物排出量削減	段ボールのリサイクル化	●	●	●	●	●	●
	紙の分別・リサイクル化	●	●	●	●	●	●
	木くず収集運搬量データ管理	●	●	●	●	●	●
水使用量削減	車両洗浄の管理	●	●	●	●	●	●
	漏水の監視	●	●	●	●	●	●
コピー用紙使用量削減	両面コピー	●	●	●	●	●	●
	裏紙の活用	●	●	●	●	●	●
	iPADの活用	●	●	●	●	●	●
G購入推進	事務用品のG購入 (コピー用紙、トイレットペーパー、ファイル、)	●	●	●	●	●	●
その他の活動	定期的な地域清掃(アースデー)	×		●			●
	EA21審査	●					

## 5. 環境関連法規等及び遵守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通り

遵守評価日：2025/4/25

主な適用法規		当社の対応	確認	評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	14条	・都道府県知事による収集運搬業の許可	遵守確認済(台帳にて管理)	○
	14条	・排出事業者又は処分業者との書面による委託契約の締結、確認及び保管(5年間)		○
	14条	・委託業者との契約、許可証明書の確認及び保管		○
	14条	・委託契約書記載内容の確認		○
	12条の3	・マニフェストの適正な記載・交付・戻り状況の確認及び保管 ・報告の義務		○
家電リサイクル法	6条	・引渡し ・費用支払	伝票、領収書確認済	○
貨物自動車運送事業法	18条	・運行管理者の選任・届出	届出済 管理手帳(2年ごと講習)	○
	50・52条	・整備管理者の選任・届出	届出済 管理手帳(2年ごと講習)	○
道路運送車両法	47・48条	・社有車両の3ヶ月点検及び日常管理	車両一覧表にて管理	○
自動車NOxPM法	12条	・NOxPM排出基準適合車両の使用	車検証にて管理	○
フロン排出抑制法	16条	・管理者判断の順守・該当機種有無	四半期毎に点検	○
	41条	・フロン類引き渡し業務	空調の引き渡しなし	○
	43条	・回収依頼書/委託確認書の交付・保存		○
	45条	・引取証明書の保存 3年間		○
労働安全衛生法	11-12条	・安全管理者・衛生管理者の選任・届出	届出済	○
	19条	・安全衛生委員会の設置・開催・記録	開催、議事録有	○
	66条	・定期的な健康診断の実施	各自年1回 常時スケジュール通り実施	○
PCB廃棄物の処理作業等における安全対策要綱	第3	・特定化学物質等作業主任者の選任	受注以降、遵守状況を確認する。	○
	第4	・安全教育		○
	第6	・保護具		○
自動車リサイクル法	8条	・引渡し ・費用支払	請求書にて確認	○
埼玉県生活環境保全条例	40-41条	・アイドリング・ストップの推進	事務所内推進文書掲示	○
	36条	・行政報告 30台以上	車庫内推進ポスター掲示済	○
	31条	・PM規制(PM減少装置、又は認定形式)	全台装置あり	○
埼玉県地球温暖化対策推進条例	30条	・自動車地球温暖化対策計画の提出	埼玉県ホームページで公表	○

当年度には法規違反と訴訟はありませんでした。

遵守状態：○ 準備中・対応中：△ 不適：×

## 6.社長による見直し結果

### (1) 全体の確認・評価

事項	報告内容（要旨）	代表者の評価
環境経営目標の達成状況	<p>●軽油燃費向上については目標値を達成。</p> <p>●軽油燃費向上●CO2排出量削減●軽油使用量●電力使用量の4項目については目標値90%達成であった。</p> <p>●廃棄物排出量●コピー用紙使用量削減の2項目は目標値未達であった。</p>	燃費向上については、引き続きエコドライブの基礎知識から具体的な運転テクニック等研修を通して教育すること。目標値90%達成項目、目標値未達項目については次年度目標値の達成が出来るように、業務プロセスの見直し・従業員の意識向上と行動変容を促してください。
環境経営計画の実施	概ね計画通り実施したが、目標値未達が目立った。事務所の人員増加により目標値を大きく上回った。オフィスでのリユース・リサイクルの促進、ペーパーレス化を徹底し目標達成出来るように努めます。	目標設定の甘さ、計画の実行における課題・進捗管理の不徹底などが未達原因となるので、環境管理者を中心に長期的な視点で取り組みを行ってください。
安全経営	年間を通して重大交通事故ゼロを達成する事が出来た。来期も目標達成を目指し教育に努めてまいります。	無事故。無災害は、私たちの事業活動の根幹であり、これからも継続していくべき重要事項です。今回の達成を励みに、次年度以降も気を緩めることなく、より安全な職場環境の実現に向けて、共に努力していきましょう。
環境関連法規などの遵守状況	当年度には法規違反及び訴訟等はありませんでした。	次年度も関連法規を遵守し、適切な業務遂行をお願いします。また、最新の情報を常に把握し、業務に反映させてください。

### (2) 代表者による環境方針等の変更の必要性、並びに指示事項

指示事項	要否	変更が必要な場合の指示事項等
環境方針の変更	否	—
環境目標	要	業務プロセスの見直しを早急に行い、従業員の意識向上及び行動変容を促すこと。
環境計画及び活動	要	目標達成に向けた計画の見直しを行い、計画の実行における課題・進捗管理を確実にすること。
安全経営	否	—
実施体制	要	次年度も引き続き環境管理責任者を中心に継続的なモニタリングと教育を行うこと。